ラフトン
Roug

カタログ
No.103-12

無希釈1液自己架橋形エポキシ樹脂さび止め塗料

エポプラ

EPOPLA

エポプラは無鉛さび止め塗料です。

スズカファイン

無希釈1液自己架橋形エポキシ樹脂さび止め塗料

EPOPLA
エポプラ

鉄鋼構造物、屋根のトタンなどの劣化・腐食を防ぐ、さび止め塗料は、長期にわたり防せい効果を発揮することが最大のポイントになります。またこの防せい性能を持続するためには、塗装時における均一な膜厚を確保することも重要です。
エポプラは、特殊自己架橋形エポキシ樹脂による抜群の浸透性、付着力で強靱な塗膜を形成し、素材への水分・酸素の透過を防止します。
エポプラは無希釈1液形ですので、使いやすく、容易に膜厚管理ができるさび止め塗料です。

特　長

- **防せい性に優れています。**
  JISK5674（鉛・クロムフリーさび止めペイント）と同等以上の防せい性を有しています。
- **無鉛さび止め塗料です。**
  有害なクロム・鉛などの重金属を含まない、安全なさび止め塗料です。
- **付着性が優れています。**
  これまでの2液形エポキシ樹脂に匹敵する付着性で強靱な塗膜を形成します。
- **使いやすく、均一な膜厚が得られます。**
  無希釈で塗装でき、一定の膜厚が確保できます。
- **可使時間、塗装間隔時間に制限がありません。**
  1液形ですので可使時間がなく、また2液形塗料のような塗装間隔に制限がありません。
- **速乾性で工期が短縮できます。**

用　途

- 建築物
  鉄鋼構造物、空調機器、階段、屋根、ダクト
- プラント類
  各種タンク（外面）、パイプ類
- 鉄塔
  送電鉄塔、看板

適用素地

- 鉄骨、鋼板
- ステンレス鋼板
- カラートタン
- ガルバリウム鋼板
- 亜鉛鉄板（電気亜鉛めっき鋼板、溶融亜鉛めっき鋼板）
- アルミニウム板

（どぶ漬け溶融メッキ鋼板、塩化ビニール被膜鋼板には適用できません。）

塗料性状

項　目	内　　容
展色剤	特殊エポキシ樹脂
顔料	無公害性防せい顔料
容姿	1液性
色相	赤さび色・グレー・白
引火点	24℃
危険物分類	第四類　第二石油類
有機溶剤区分	第二種　有機溶剤等
有機溶剤	キシレン・エチルベンゼン

適用旧塗膜と適用上塗塗料

適用旧塗膜

- 合成樹脂調合ペイント
- ポリウレタン樹脂塗料
- 塩化ゴム樹脂塗料
- エポキシ樹脂塗料

※シリコン樹脂塗料およびふっ素樹脂塗料は不適

＋

下塗

エポプラ

＋

適用上塗塗料（商品名）

ラフトンワイドフッソ	（弱溶剤形フッ素樹脂塗料）
ワイドエポーレF	（弱溶剤形フッ素樹脂塗料）
ワイドエポーレSi	（弱溶剤形エポキシ・シリコン変性ポリウレタン樹脂塗料）
ワイドシリコン	（弱溶剤形シリコン樹脂塗料）
1液ワイドシリコン	（弱溶剤形シリコン樹脂塗料）
ワイドエポーレU	（弱溶剤エポキシ変性ポリウレタン樹脂塗料）
エポーレ	（エポキシ変性ポリウレタン樹脂塗料）
ラフトンウレタンエナメル	（ポリウレタン樹脂塗料）
ワイドウレタン	（弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料）
1液ワイドウレタン	（弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料）
ワイドルーフ	（弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料）
アクリルバーン	（アクリルアルキド樹脂塗料）
メタルトップ	（アクリルアルキド樹脂塗料）
アクリルエポーレ	（弱溶剤形アクリルアルキド樹脂塗料）
エスコートホープDX	（合成樹脂調合ペイント）
エスコートECO	（合成樹脂調合ペイント）
サンルーフ	（合成樹脂トタンペイント）

無公害の高防せい顔料を用いたエポプラの試験結果をご覧ください。

塩水噴霧試験（500時間）

〔試験条件〕テスト板：軟鋼板／ケレン程度：脱脂／さび止め膜厚：34μm

下塗り	エポプラ	アルキド樹脂系さび止め	フェノール樹脂系さび止め	2液形エポキシ樹脂さび止め	1液形エポキシ樹脂さび止め
上塗り	2液形ポリウレタン樹脂塗料	合成樹脂調合ペイント	2液形ポリウレタン樹脂塗料	2液形ポリウレタン樹脂塗料	2液形ポリウレタン樹脂塗料

〔試験条件〕テスト板：発錆した軟鋼板／ケレン程度：2種ケレン／さび止め膜厚：34μm

下塗り	エポプラ	アルキド樹脂系さび止め	フェノール樹脂系さび止め	2液形エポキシ樹脂さび止め	1液形エポキシ樹脂さび止め
上塗り	2液形ポリウレタン樹脂塗料	合成樹脂調合ペイント	2液形ポリウレタン樹脂塗料	2液形ポリウレタン樹脂塗料	2液形ポリウレタン樹脂塗料

他種塗料との比較試験結果

項目＼塗料	エポプラ	アルキド樹脂系さび止め塗料	フェノール樹脂系さび止め塗料	2液形エポキシ樹脂さび止め塗料	1液形高分子エポキシ樹脂さび止め塗料	備　考
乾燥時間（指触/硬化）	15分/3時間	3時間/8時間	1時間/5時間	50分/7時間	15分/2時間	膜厚100μm（Wet） 指触/硬化時間（23℃）
可使時間	−	−	−	8時間	−	23℃
光沢	21.0	16.0	11.0	13.2	45.4	60度鏡面光沢度　膜厚100μm（Wet） 素材：ガラス板
付着性	100/100	82/100	90/100	100/100	100/100	素材：軟鋼板　碁盤目付着試験 テープ剥離残数/カット数
耐屈曲性	異常なし	われ発生	われ発生	異常なし	異常なし	素材：軟鋼板 180度折り曲げ4mmφ
耐衝撃性	異常なし	われ発生	われ発生	異常なし	異常なし	デュポン式 500g×40cm　R=1/2
耐水性	異常なし	ブリスター発生	ややブリスター発生	異常なし	異常なし	水中１ヶ月間　浸漬
耐塩水性	異常なし	ブリスター発生	ブリスター発生	異常なし	異常なし	5%塩化ナトリウム水溶液 14日間　浸漬
防せい性	異常なし	発錆	発錆	異常なし	異常なし	塩水噴霧試験500時間
膜厚（μm）	34	30	26	35	25	塗付量 0.14kg/㎡/回の場合
流れ（μm）	200	200	125	225	125	塗装時の粘度に調整 エポプラは無希釈
旧塗膜適合性	良好	良好	良好	良好	膨潤	旧塗膜：合成樹脂調合 ペイント塗装１ヶ月後の塗膜

標準塗装仕様

■鉄面・ステンレス面仕様（鉄鋼構造物、ダクト、パイプ）

	工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/㎡/回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法	標準膜厚(μm/回)
1	素地調整	● ディスクサンダー、ワイヤーホイルなどの動力工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤーブラシ、研磨布などの手工具を併用して、さび、黒皮、油分、付着物などを除去する。（JASS18鉄面素地調整2種）。 ● 発錆部はSSPC-SP3（SISt3）まで除錆する。						
2	下塗り（さび止め塗り）	エポプラ	100	0.12〜0.16	1〜2	（※注1）	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り	28〜40

※注1　■ エポプラ2回塗りの場合〔3時間以上〕■ エポーレ、メタルトップ、ラフトンウレタンエナメル上塗りの場合〔16時間以上〕■ ワイドエポーレF、ラフトンワイドフッソ、ワイドエポーレSi、ワイドシリコン、ワイドウレタン、ワイドエポーレU、1液ワイドウレタン、1液ワイドシリコン、アクリルバーン、エスコートホープDX上塗りの場合〔3時間以上〕

3	上塗り	適用上塗塗料 ● エポーレ	● ワイドシリコン ● ワイドエポーレSi ● ワイドウレタン	● 1液ワイドウレタン ● 1液ワイドシリコン ● メタルトップ	● アクリルバーン ● エスコートホープDX ● ワイドエポーレF	● ワイドエポーレU ● ラフトンウレタンエナメル ● ラフトンワイドフッソ

■亜鉛鉄板・カラートタン・アルミニウム板仕様（屋根、ダクト）

	工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/㎡/回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法	標準膜厚(μm/回)
1	素地調整	● さび、劣化塗膜、汚れ、付着物を皮すき、ワイヤーブラシ、研磨布、サンダーなどを用いて除去する。 ● 油類は溶剤ぶきで除去する、または高圧洗浄機による水洗いで除去、清掃する。 ● 素地は十分に乾燥させる。						
2	下塗り（さび止め塗り）	エポプラ	100	0.12〜0.16	1〜2	（※注2）	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り	28〜40

※注2　■ エポプラ2回塗りの場合〔3時間以上〕■ エポーレ上塗りの場合〔16時間以上〕■ ワイドエポーレSi、ワイドエポーレF、ワイドエポーレU、1液ワイドシリコン、ワイドルーフ、ワイドシリコン、アクリルエポーレ、サンルーフ上塗りの場合〔3時間以上〕

3	上塗り	適用上塗塗料	● ワイドエポーレSi ● エポーレ	● 1液ワイドシリコン ● ワイドシリコン	● ワイドルーフ ● アクリルエポーレ	● サンルーフ ● ワイドエポーレF ● ワイドエポーレU

□ 塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

塗装基準

項　目		内　容	
乾燥時間	5℃	指触25分、硬化5時間	
	23℃	指触15分、硬化3時間	
	30℃	指触10分、硬化2時間	
塗装間隔	5℃	弱溶剤形塗料の場合	6時間以上
		上記以外の塗料の場合	36時間以上
	23℃	弱溶剤形塗料の場合	3時間以上
		上記以外の塗料の場合	16時間以上
	30℃	弱溶剤形塗料の場合	2時間以上
		上記以外の塗料の場合	8時間以上
標準塗付量	0.12〜0.16kg/㎡		
標準膜厚	28〜40μm		
塗装方法	はけ、ローラー、エアレス		
希釈	なし		

容量

エポプラ……15kg　4kg

色相（色は印刷のため近似色です。）

赤さび色　　グレー　　白

■ 塗装時の素地調整は、下記に準じてください。

素地調整の程度	旧塗膜の状況	素地調整		関連規格	
		工　具	素地調整後の素地状態	SSPC規格	スエーデン規格
1種ケレン	特に腐食の著しい状態	サンドブラスト	旧塗膜、さびを完全に除去し、金属面とする。	SSPC-SP5 SSPC-SP10	SISSa3 SISSa2 1/2
2種ケレン	塗膜が劣化し、腐食のはなはだしい状態	ディスクサンダーなど動力工具とワイヤーブラシの併用	旧塗膜、さびを除去し、金属面とする。活膜が存在する場合は残す。	SSPC-SP3	SISSt3
3種ケレン	塗膜の殆どが活膜で部分的に発錆が認められる	ディスクサンダーなど動力工具とワイヤーブラシの併用	劣化塗膜を除去し、発錆部はさびを落とし、金属面をあらわす。	SSPC-SP2	SISSt2
4種ケレン	活膜で、変色・チョーキング・付着物などが多い状態	ワイヤーブラシ、サンドペーパー、スクレーパーなど手工具	粉化物および汚れを除去し、清浄にする。	—	—

塗装上の注意事項

- 塗装前に塗料はよくかくはんしてご使用ください。
- 塗付量が少ない場合、防せい性および付着性が低下しますので、必ず標準塗付量（0.12～0.16kg/㎡）を塗装して、膜厚28～40μmを確保してください。また、さびの著しい部分は、ケレン後、増し塗りを行ってください。
- 膜厚が28μm以下のとき、塗装面に水滴（水分）があった場合、旧塗膜が付着不良のときなどは、ちぢみ現象を生じることがありますのでご注意ください。
- 高温（50℃以上）、高湿度の場合は塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・結露の恐れがある場合は塗装を避けてください。
- 粘度調整が必要な場合、また塗装用具の洗浄には、スズカシンナー#2000をご使用ください。なお、希釈は5%以内にしてください。
- エアレス塗装の場合、塗料ミスト、臭いが居住者、隣家、車両などに飛散しないように、十分養生をしてください。
- モルタル等のアルカリ性素材、軟質の被覆鋼板への塗装は避けてください。

注）エポプラは、どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材には適用できません。

取扱い上の注意事項

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
- 取扱作業場所には、局所換気装置を設けてください。
- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
  ・有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
- 臭いは、食料品・飲食器・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるかまたは、養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ時には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。
  ・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または、粉末消火器を用い初期消火をしてください。
- 捨てる時は、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート（SDS）をご参照ください。
- カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

スズカファイン株式会社

営業本部　〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4　☎059-397-2187　FAX059-397-6191
研究開発本部　〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1　☎059-346-1116　FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311　東京支店 ☎03-5661-2211　名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601　広島支店 ☎082-277-1116　四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

URL http://www.suzukafine.co.jp/

取扱店

□本カタログの内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。